

令和5年度鹿児島市防災会議 会議概要

【日 時】

令和6年3月19日（火） 10時30分～11時30分

【場 所】

かごしま県民交流センター大ホール

【出席委員】

防災会議委員（会長1名、委員60名中56名出席）

【会次第】

- 1 開会
- 2 協議
 - (1) 桜島火山災害対策避難計画の修正
 - (2) 組織整備等に伴う災害対策本部組織編成の修正
 - (3) その他修正（地域防災計画修正案）
- 3 その他
- 4 閉会

【主な決定事項】

すべての議案について、原案どおり承認

【議事概要】

委 員：能登半島地震について、避難所において女性への配慮が必要と思われる事例があった。鹿児島市の避難所運営や体制はどのようになっているか。

（更衣スペースがない、男性による下着・生理用品の配布、炊事等の役割の女性への固定など）

事務局：避難所運営マニュアルにおいて、女性の参画や性別に偏らない活動など、男女共同参画の視点に配慮した避難所環境づくりを基本方針のひとつに掲げている。

プライバシーの確保について、避難者のニーズに応じてレイアウトの配慮や空き教室を更衣室等に活用などしている。

委 員：能登半島地震における物資の輸送について、通信障害や交通遮断などにより必要な避難所に届かないということがあったようである。このような点を踏まえて対策を検討いただきたい。

事務局：本市では食糧など様々な物資の提供について民間事業者と協定を締結しており、基本的には市内に物資があることを確認している。ただ、通信がうまくいかないと物資が必要な避難所との連絡もできないことも考えられるので、必要な物資の情報共有が適切になされるよう対応していきたい。

委 員：医療的ケア児の家族等から災害時の対応について不安の声が多々ある。電源確保についてはどのような対策がとられているのか。

事務局：電源対策については、非常用自家発電を備える避難所のほか、発電機の備蓄、電気自動車の

活用を想定している。また、医療機器が使われている方に対して、これまで備蓄している発電機では安定した電圧が供給できないため、新年度に蓄電池を備蓄し、必要な避難所へ届けることとしている。

委員：個別避難計画の作成に関連して、医療的ケア児について、県や市、関係機関が一緒になって計画を作成し、避難訓練を行っているところもある。鹿児島市でもそのような取組について検討いただきたい。

事務局：市において個別での訓練を実施することは難しいところではあるが、現在行っている訓練に避難者として入っていただくことなどを考えていきたい。また関係課や福祉関係者とも協議していきたい。

委員：行方不明者等への対応について、遺族の方へのケア等を行う専門団体があるので、協定の締結などを検討いただきたい。

事務局：行方不明者等の情報の公表だけでなく、遺族へのケアなどそのような観点で取組を進められるよう検討していきたい。

委員：外国人への支援として、避難所運営ゲームを行い、留学生から理解が深まったなどの声をいただいている。支援を待つのではなく、積極的に自分で対策を考えていただけるような取組をお願いしたい。

事務局：避難所運営ゲームについては以前から承知している。国際交流財団などとも連携しながら、外国人への対応も積極的に行っていきたい。

委員：鹿児島市の備蓄の状況について教えてほしい。

事務局：備蓄の考え方として、発災後2日目からは協定事業者等からの供給が可能との前提のもと、避難想定者数の1日分の食糧や物資の備蓄を行っている。

食糧はアルファ米・パン・粉ミルク・ペットボトル水など、物資についてはカセットボンベや簡易トイレ、パーテーションや個室用テントなどの生活用品等を備蓄している。